

# 第6学年 社会科学学習指導案

## 1 小单元名

「江戸幕府と政治の安定」

## 2 小单元の目標

- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸時代の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を理解することができる。(知識・技能)
- 江戸時代の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を関連付けたり総合したりして、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、適切に表現することができる。(思考・判断・表現)
- 江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。(主体的に取り組む態度)

## 3 単元構成の意図

本学級は男子 18 人、女子 18 人、計 36 人（特別支援学級の交流児童男子 2 人、女子 1 人を含む）の学級である。本学級には新たな社会的事象について知ることに関心をもっている児童が多く、歴史の学習を「好き」という児童が約 70%、「楽しい」という児童が約 80%である。それに対し、「難しい」と感じている児童は約 70%、「役に立つ」と感じている児童は約 50%である。また、江戸時代については、「武士」「刀」「戦」等のイメージがあるが、その他のことは知らないという児童がほとんどである。調べ学習では、簡単な文章資料から必要な情報を見つけることはできるが、絵や写真資料、地図、年表等の資料の読み取りは苦手としている。また、読み取ったことをもとに自分の考えや判断をまとめたり、表現したりすることに苦手意識をもっている児童が多い。

本小单元は、江戸幕府による様々な政策や、身分制について調べ理解することを通して、武士による政治が安定したことを理解できるようにすることがねらいである。文化財や地図、年表など様々な資料から、幕府の政策の意図について考えることができる単元である。

いろいろな資料から幕府の政策の意図について考えさせるとともに、その政策が与えた影響を幕府や大名、民衆など、いろいろな立場から考える活動を取り入れることで、多角的に考え、判断する力を身に付けさせたい。

## 4 単元の計画（総時数6時間）

時	場面	学習活動（夢中に学んでいる姿）	資質・能力
1	見通す	江戸幕府が250年以上も続いたことに疑問をもち予想を出し合う。	疑問や予想を出し合い、課題解決に向けて取り組もうとしている。(主)(思)
2	習得する	武家諸法度や江戸城の図などから徳川家光がどのようにして幕府の権力を確立したのかを調べる。	必要な情報を読み取り、江戸幕府による大名統制の仕組みについて理解することができる。(知・技)
3	習得する 考える	参勤交代について調べ、江戸幕府がどのように大名を統制していったかを考える。	必要な情報を読み取り、参勤交代の目的と大名への影響について理解することができる。(技)(思)
4	習得する 考える	身分制と人々の暮らしについて調べ、江戸幕府がどのように人々を治めたかを考える。	必要な情報を読み取り、江戸時代の身分制度と人々の暮らしについて調べ、幕府の取り組みの目的について考えることができる。(技)(思)
5 本時	考える 対話する	キリスト教の禁止や鎖国について調べ、その影響について考え、話し合う。	キリスト教禁止の意味や鎖国のもとの外国との関係について調べ、その影響について話し合うことができる。(思・表)
6	振り返る	江戸幕府の政治について様々な人々の立場に立って表現する。	江戸幕府の政治と様々な立場の人々の思いを関連付けて表現することができる。(思・表)



小单元を通して育成したい子どもの姿

絵や写真資料、地図、年表などの様々な資料から必要な情報を読み取り、江戸幕府の政策の意図や影響についていろいろな立場から考えることで、多角的に考え判断しようとする姿。

## 5 本時のねらい

キリスト教の禁止や鎖国について、背景にあった出来事や世の中への影響などについて調べたり話し合ったりすることにより、幕府の政策の意図を考えることができる。

## 6 学習過程

	学習活動・内容 (T 主な発問・C 児童の反応)	時間	○指導上の留意点 ◎研究主題に迫る手立て ◇評価
課題設定	1 本時の学習課題をとらえる。 (1) 日本町の分布や出島などの様子が分かる資料から、江戸時代の初めは貿易が盛んだったにも関わらず、幕府が鎖国政策を行ったことをつかむ。 (2) 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">江戸幕府が鎖国をしたのはなぜだろう？</div>	10	○江戸時代始めは貿易が盛んだったのに鎖国政策に変わっていったことを提示することで疑問を持たせ、課題解決への意欲を高める。 ○前時までの学習を振り返り「鎖国」という言葉について確認するとともに、教科書を使って意味を補足する。
課題解決	2 江戸幕府が鎖国をしたのはなぜか調べる。 (1) 鎖国について教科書や資料集から調べる。 ・キリスト教禁止 ・スペイン船の来航禁止 ・海外渡航・帰国禁止 ・島原・天草一揆 ・出島 (2) 調べたことをグループで交流し、江戸幕府が鎖国をした理由や影響について考える。 ・キリスト教を禁止 ・出島での貿易  3 江戸幕府が鎖国をした理由を全体で話し合い、まとめる。 T：江戸幕府が鎖国をしたのはなぜですか？ C：キリスト教を禁止するために鎖国した。 T：どうしてキリスト教を禁止したかったのですか？ C：キリスト教の信者が増えていった。 C：キリスト教信者が一揆を起こした。 T：オランダや中国とは貿易を続けているけど… C：キリスト教を広めないから。 T：鎖国によって世の中はようになったかな？ C：キリスト教が広まらなくなった。 C：江戸幕府が貿易を独占した。 C：江戸幕府が長続きすることにつながった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">キリスト教を禁止し、貿易を独占することで、政治を安定させるために鎖国をした。</div>	10  20	◎年表から島原・天草一揆と鎖国政策を関連付けて考えることができるようにする。 ○鎖国の理由が考えられない児童には、ペアやグループの児童の考えをモデルにして書くよう助言する。 ○絵踏みの様子が分かる資料を提示し、厳しく取り締まったことをとらえることができるようにし、キリスト教を禁止した江戸幕府の意図について考えさせる。 ○「人はみな平等」というキリスト教の教えが幕府の身分制と相容れないものであることを補足する。 ◎児童の意見から新たな問いを引き出すことで、キリスト教の影響に気づかせ、鎖国について児童の考えが深まるようにする。 ○出島により貿易を行う場所を制限することで江戸幕府が貿易の利益を独占できたことをとらえさせる。 ○鎖国によって江戸幕府の政治が安定したことを確かめ、「江戸幕府が250年も続いたのはなぜか」という単元を通した学習課題との関連をとらえさせる。 ◇江戸幕府が鎖国した理由をキリスト教と関連させてまとめている。(ノート)
振り返り	4 本時の学習を振り返り、鎖国について自分の考えを書く。 C：鎖国してよかった。理由は…。	5	◎鎖国のメリットやデメリットに触れて自分の考えを書かせる。

## 7 板書計画

